



～ 手話でつなごう平和の架け橋 長崎から ～
第74回全九州ろうあ者大会
第53回全九州手話通訳者研修会 in ながさき

日程:2026年9月4日(金)～6日(日) 会場:出島メッセ長崎 (JR 長崎駅西口 直結)

速報
第4号

2026.7.12

各県目標人数
計 1,000 名



みなさんの参加を
お待ちしております



主催:九州聴覚障害者団体連合会 共催:全国手話通訳問題研究会九州ブロック・九州手話サークル連絡協議会
主管:一般社団法人長崎県ろうあ協会 第74回全九州ろうあ者大会・第53回全九州手話通訳者研修会 in ながさき実行委員会
<実行委員会事務局> 長崎市橋口町10-22 長崎県聴覚障害者情報センター内 FAX 095-847-2572 TEL 095-847-2681
構成団体:一般社団法人長崎県ろうあ協会・全国手話通訳問題研究会長崎支部・長崎県手話サークル連絡協議会・長崎県手話通訳士協会



長崎にある「世界遺産」を見に行こう！

グラバー園（「明治日本の産業革命遺産」2015 年登録）

1859 年の長崎開港に伴い、外国人居留地となった長崎市の南山手の丘にたてられた邸宅や市内に点在していた明治期の洋館を移設・復元した野外博物館です。

園内にある旧グラバー住宅は外国風のバンガロースタイルで1863年に建てられた現存する日本最古の木造洋風建築で、天井裏には幕末にグラバーが薩摩藩や長州藩の志士を匿ったとされる秘密の隠し部屋が存在します。

また、園内にあるレトロ衣装館では明治時代の貴婦人をイメージしたドレスやレトロな衣装をレンタルでき、写真撮影ができます。他にも園内の敷石の中には2カ所、綺麗なハート型の石が紛れていて「この石に触れて願いをかける」と恋が叶うや「2 つとも見つけるといいことがある」と言われています。

通常は 18 時閉園ですが、7 月中旬～10 月初旬は 20 時～21 時半まで延長され、長崎の夜景と共に幻想的なライトアップを堪能できます。



住 所	長崎市南山手町 8-1
営業時間	8:00～18:00（通常） ※大会期間中は 8:00～21:30
料 金	大人 1,300 円 こども 650 円

大浦天主堂（「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」2018 年登録）

1864 年に幕末の開国に伴い、在留外国人のためにフランス人宣教師らによって建立されました。正式名称は『日本二十六聖殉教者聖堂』といい 1597 年豊臣秀吉のバテレン（宣教師）追放によりに処刑された日本人 26 人に捧げられた教会で、キリスト教建築としては日本唯一の国宝です。聖堂内を彩るステンドグラスは約 100 年前のフランス製のものもあり、リブ・ヴォールト（コウモリ天井）が特徴の西洋建築。建立当時、日本は「キリシタン禁制」の真っ只中で日本人には信仰の自由はなく、市民からは「フランスの寺」呼ばれていました。

禁教令の厳しい時代から約 250 年もの潜伏期間を経て、日本の「潜伏キリシタン」が宣教師に信仰を告白した「信徒発見」の舞台として世界的に有名です。

現在も日々祈りが捧げられている神聖なカトリック教会（聖堂）です。



住 所	長崎市南山手町 5-3
開館時間	8:30～18:00
拝観料金	大人 1,000 円 中・高生 400 円 小学生 300 円